日本キリスト教団 東金教会〔１８〕

２０２０年５月３日 復活節第４主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖　句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	武田
奏楽	中里
受付	王田
案内	藤田
名札係	藤田
礼拝感謝祈祷	薬師寺
〃　〃	王
前奏	中里
讃美歌 14	一同
使徒信条 566	〃
交読文 16	司・会衆
主の祈り 564	一同
聖書朗読	武田
マルコ福音書1:9～11	
祈祷	武田
新聖歌 35	一同
み言葉の伝え	中村
〈主イエスの洗礼〉	
讃美歌 483	一同
献金	
礼拝感謝	薬師寺
〃　〃	王
報告	武田
頌栄 541	一同
祝祷(派遣)	中村
後奏 新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　５月６日(水)19:30～
早天祈祷会　月～金7時(除祭日)メーヤー館
(メーヤー館は休店ですが祈祷会は行います。)
聖書輪読会　５月１０日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　５月１０日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日の聖餐式は中止とさせていただきます。
☆教会総会、東金教会学園理事・評議員会は下記のように延期とさせていただきます。
☆今年のペンテコステは５月３０日です。礼拝後墓前礼拝が予定されており、大谷　姉の埋骨式も併せて行う予定です。
☆マルコ①福音の初め　②バプテスマのヨハネのCDの希望者は牧師まで申出下さい。

【臨時長老会報告】

日時…2020.4.5　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　藤田　(書記)　森川
井上　武田
議事…○新型コロナウィルスに対応した礼拝の持ち方について(聖餐式中止　受難日祈祷会中止
イースター礼拝は---長老に依る聖書輪読中止
讃美歌の数の制限　聖歌隊の讃美方法の制約　祝会中止)　座席についてはできるだけ空間をとる)

【定期長老会報告】

日時…2020.4.12　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川　(書記)　井上
武田　土屋　宮中
議事…①教会学校一時閉鎖報告　②礼拝におけるコロナ伝染防止対応(マスク着装　換気等)

【臨時長老会報告】

日時…2020.4.26　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川(書記)　井上
武田　土屋　宮中
議事…①教会総会--延期　②礼拝は現状を維持但し欠席者にはCD又はDVDやユーチューブ掲載で対応

○教会総会
５月１７日開催予定の教会総会は延期
○東京教区総会　延期
○東金教会学園理事・評議員会
延期(コロナ騒動の終息状況を見て決定)

【５月３日～５月１０日誕生者】

○5/6土屋姉　○5/3三枝姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/26)	10	14	24
聖研祈祷会(4/29	3	1	4
聖書輪読会(4/26)	2	1	3
教会学校(4/26)	2	3	5

早天祈祷会			
日	男	女	計
4/27	3	2	5
4/28	3	1	4
4/29			
4/30	2	1	3
5/1	3	1	4

主日礼拝献金(4/２６)……１８,７７８円
教会学校献金(4/２６)……３,４６０円

【今日のメッセージ】

題　〈主イエスの洗礼〉
聖　書　マルコ福音書1:9～11
1・主イエスの決断
2・出会い
3・洗礼を受けられる主イエス

【次週(５月１０日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈荒れ野の試み〉
聖　書 マルコ福音書１：１２～１３
交読文 １７
讃美歌 １５番　３１３番
新聖歌 ３０４番

【次週(５月１０日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…	中村立
司式者…	足本
奏楽者…	中本
受付者…	澤上
案内者…	藤田
名札当番…	井村立
礼拝感謝祈祷…	武本
〃　〃 …	岡部
ｃｓお話し…	足波
会堂清掃者…	藤戸
〃　〃 …	中
花係…	岡
看板書き…	戸

※一応の当番表です。休みの場合ご連絡戴かなくて結構です。

【聖書から】

洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。
マルコによる福音書一章四節

バプテスマのヨハネと称される者がヨルダンの荒れ野に出現した。彼はらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。当時のユダヤの民とは全く異にする衣服を纏い、食料を食べ、荒れ野の声として立っていたのである。そしてユダヤの全地方とエルサレムの住民たちが続々とこのヨハネの許に来た。このヨハネの姿に強く惹き付けられたのである。彼は当時の都会人とは全く生活様式を異にし、人が生きるに必要な最小のものを着、食べ、余分な物を一切持たず、その語ることも町に住む者がいつからかあからさまに、素朴に語ることを控えるような言葉を語った。そして世の人はこのような彼に惹かれた。この情景を想像するとき、私たちも何か惹かれるものを感ずるのである。私たちの殆ど凡ては人間の造った諸々に囲まれ、そこから抜け出ることもままならず、その方策も、抜け出る勇気もなく、もがいているのが実情である。このような中にひとりヨハネだけが其処から解放された者のごとくに立っている。それが私たちを強烈に惹き付ける。けれどもその生活スタイルにあるのではない。彼の言葉、しかもたった一つの言葉こそ私たちが聞かなければならない言葉であり、この言葉こそ我々がその偽善から解放される言葉である。その言葉、それは「悔い改める」と言う言葉である。それは私たちの生活様式の一つ一つを吟味し、自分の欠点と思われる或ることを反省し、改めるということではない。そうではなく、私たちの生きる根本の姿勢を変えること、私たちの生きる向きを変えることを意味する。それは自分を取り巻くこの世の諸々に目を注ぐのでなく、罪を除く唯一の方、神なるイエスに目を注ぐことである。私たちの生活の根本を神に還ることから始めること、それがヨハネの語ることであり、聖書が繰り返し私たちに呼びかけることである。ただこの一点において私たちは回復される。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。